



2019年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月10日

上場取引所 東

上場会社名 アイダエンジニアリング株式会社

コード番号 6118

URL <http://www.aida.co.jp>

代表者(役職名) 代表取締役会長兼社長

(氏名) 会田 仁一

問合せ先責任者(役職名) 常務執行役員 管理本部長

(氏名) 鶴川 裕光

(TEL) 042-772-5231

四半期報告書提出予定日 2019年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	18,862	19.4	1,203	△8.5	1,369	8.7	942	△3.5
2018年3月期第1四半期	15,792	3.0	1,315	3.9	1,259	△8.6	977	△1.1

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 546百万円(△67.8%) 2018年3月期第1四半期 1,695百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	15.28	15.24
2018年3月期第1四半期	15.84	15.81

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第1四半期	114,201	74,505	64.6	1,196.27
2018年3月期	116,108	75,924	64.8	1,219.02

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 73,806百万円 2018年3月期 75,210百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	—	—	30.00	30.00
2019年3月期	—	—	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	39,000	19.1	3,400	18.2	3,500	23.5	2,500	28.2	40.52
通期	78,000	5.6	6,800	7.7	6,900	16.4	4,900	2.4	79.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は添付資料7ページ「(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項」の「(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2019年3月期1Q	73,647,321株	2018年3月期	73,647,321株
2019年3月期1Q	11,950,281株	2018年3月期	11,950,279株
2019年3月期1Q	61,696,979株	2018年3月期1Q	61,692,575株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	9
受注の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結会計期間における世界経済については、先進国、新興国ともに景気拡大局面が続くとともに、国内経済も、個人消費や企業業績が堅調で穏やかに回復している状況ですが、中国や欧州等の主要国における景気減速懸念、貿易摩擦リスク、地政学リスク等、先行きの不透明感は拭えない状況です。

鍛圧機械製造業界におきましては、国内、海外ともに受注が増加し、当第1四半期連結累計期間の受注は前年同期比22.4%増の53,200百万円（一般社団法人 日本鍛圧機械工業会 プレス系機械受注額）となりました。

当社グループの当第1四半期連結累計期間の受注高については、自動車関連向けプレス機械の受注が増加し、24,537百万円（前年同期比10.2%増）となり、受注残高は64,997百万円（前年度末比9.6%増）となりました。売上高は、国内外での自動車関連向けプレス機械売上の増加や日本リライアンス株式会社等の新規連結効果等により、18,862百万円（前年同期比19.4%増）となりました。利益面では、原価率の上昇等により営業利益は1,203百万円（同8.5%減）となり、経常利益は為替損益の改善影響により1,369百万円（同8.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は942百万円（同3.5%減）となりました。

セグメントの経営成績は以下のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比較につきましては、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。詳細は、「注記事項（セグメント情報等）」をご参照ください。

- 日本：自動車関連向けプレス機械の売上増加や日本リライアンス株式会社等の新規連結の影響等により、売上高は11,774百万円（前年同期比17.1%増）となったものの、セグメント利益は原価率の上昇等の影響により468百万円（同13.5%減）となりました。
- 中国：自動車関連向けプレス機械、サービス売上増により、売上高は2,730百万円（前年同期比29.8%増）となりましたが、セグメント利益は原価率の上昇と販管費の増加により88百万円（同53.2%減）となりました。
- アジア：小型プレス機械やサービス売上の増加等により、売上高は2,430百万円（前年同期比20.6%増）となりましたが、セグメント利益は原価率の上昇等により344百万円（同8.3%減）となりました。
- 米州：自動車関連向け中・大型プレス機械の工事進行基準売上の増加等により、売上高は4,973百万円（前年同期比8.6%増）となったものの、セグメント利益は原価率の上昇等により248百万円（同30.3%減）となりました。
- 欧州：自動車関連向け中・大型プレス機械やサービス売上の増加等により、売上高は3,234百万円（前年同期比3.1%増）となりましたが、セグメント損益は原価率の上昇と販管費の増加により36百万円の損失（前年同期はセグメント利益45百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態の状況については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度末との比較・分析を行っております。

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産は前連結会計年度末に比べて1,907百万円減少し、114,201百万円となりました。主な要因は、利益配当等による現金及び預金の減少2,131百万円、受取手形及び売掛金・電子記録債権の減少2,028百万円、たな卸資産の増加1,897百万円等であります。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べて488百万円減少し、39,696百万円となりました。主な要因は、前受金の減少744百万円、買掛金及び電子記録債務の増加770百万円、未払法人税等の減少713百万円等であります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて1,419百万円減少し、74,505百万円となりました。主な要因は、利益配当等による利益剰余金の減少1,012百万円等であります。当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は64.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年5月15日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	33,163	31,031
受取手形及び売掛金	22,444	20,420
電子記録債権	2,485	2,480
製品	2,312	2,759
仕掛品	11,038	12,472
原材料及び貯蔵品	4,014	4,030
その他	3,158	3,795
貸倒引当金	△226	△221
流動資産合計	78,390	76,769
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	24,664	24,647
減価償却累計額	△16,106	△16,237
建物及び構築物（純額）	8,558	8,409
機械装置及び運搬具	16,326	16,336
減価償却累計額	△9,579	△9,798
機械装置及び運搬具（純額）	6,746	6,537
土地	7,140	7,128
建設仮勘定	362	954
その他	3,535	3,511
減価償却累計額	△2,894	△2,922
その他（純額）	641	589
有形固定資産合計	23,449	23,620
無形固定資産	927	887
投資その他の資産		
投資有価証券	8,734	8,211
保険積立金	2,943	3,090
退職給付に係る資産	795	803
繰延税金資産	708	665
その他	195	189
貸倒引当金	△36	△36
投資その他の資産合計	13,340	12,923
固定資産合計	37,718	37,431
資産合計	116,108	114,201

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,374	7,984
電子記録債務	4,600	4,760
短期借入金	2,611	2,557
1年内返済予定の長期借入金	500	500
未払金	1,065	1,378
未払法人税等	1,156	443
前受金	11,745	11,000
製品保証引当金	717	634
賞与引当金	1,214	566
役員賞与引当金	52	25
受注損失引当金	105	116
その他	2,055	2,607
流動負債合計	33,198	32,575
固定負債		
長期借入金	1,000	1,000
長期未払金	820	892
繰延税金負債	3,039	3,084
株式給付引当金	344	354
退職給付に係る負債	1,461	1,467
その他	319	320
固定負債合計	6,985	7,120
負債合計	40,184	39,696
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,831	7,831
資本剰余金	12,486	12,486
利益剰余金	54,000	52,988
自己株式	△5,222	△5,223
株主資本合計	69,095	68,082
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,930	4,567
繰延ヘッジ損益	26	△42
為替換算調整勘定	734	786
退職給付に係る調整累計額	423	411
その他の包括利益累計額合計	6,114	5,723
新株予約権	148	148
非支配株主持分	566	550
純資産合計	75,924	74,505
負債純資産合計	116,108	114,201

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)
売上高	15,792	18,862
売上原価	12,147	15,224
売上総利益	3,644	3,637
販売費及び一般管理費	2,329	2,433
営業利益	1,315	1,203
営業外収益		
受取利息	17	25
受取配当金	72	84
為替差益	—	73
その他	29	52
営業外収益合計	118	235
営業外費用		
支払利息	9	9
為替差損	138	—
設備移設費用	—	48
その他	25	12
営業外費用合計	174	69
経常利益	1,259	1,369
特別利益		
固定資産売却益	1	6
その他	0	—
特別利益合計	1	6
特別損失		
固定資産除却損	2	12
特別損失合計	2	12
税金等調整前四半期純利益	1,259	1,363
法人税等	281	426
四半期純利益	977	937
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△5
親会社株主に帰属する四半期純利益	977	942

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
四半期純利益	977	937
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	220	△362
繰延ヘッジ損益	△107	△68
為替換算調整勘定	604	51
退職給付に係る調整額	0	△11
その他の包括利益合計	717	△391
四半期包括利益	1,695	546
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,695	551
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△5

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、「法人税、住民税及び事業税」及び「法人税等調整額」を「法人税等」として一括掲記しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	日本	中国	アジア	米州	欧州	計		
売上高								
外部顧客に対する売上高	5,599	1,990	861	4,465	2,876	15,792	—	15,792
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,460	113	1,153	115	261	6,104	△6,104	—
計	10,059	2,103	2,015	4,580	3,137	21,897	△6,104	15,792
セグメント利益	541	187	375	356	45	1,506	△190	1,315

(注) 1 売上高の調整はセグメント間取引高の消去額であり、セグメント利益の調整額はセグメント間取引消去に伴う調整額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	日本	中国	アジア	米州	欧州	計		
売上高								
外部顧客に対する売上高	7,270	2,464	1,070	4,936	3,120	18,862	—	18,862
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,503	266	1,360	36	113	6,280	△6,280	—
計	11,774	2,730	2,430	4,973	3,234	25,142	△6,280	18,862
セグメント利益又は損失 (△)	468	88	344	248	△36	1,112	91	1,203

(注) 1 売上高の調整はセグメント間取引高の消去額であり、セグメント利益又は損失(△)の調整額はセグメント間取引消去に伴う調整額であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの区分方法の変更)

当第1四半期連結会計期間より、当社グループ内の経営管理体制に合わせ、報告セグメントの区分方法を見直しております。従来「アジア」セグメントに計上していた中国事業を「中国」セグメントに、日本及び中国を除くアジア事業を「アジア」セグメントに区分して記載する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

3. 補足情報

受注の状況

当第1四半期連結累計期間の受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高		受注残高	
	金額（百万円）	前年同期増減率（%）	金額（百万円）	前年度末増減率（%）
日本	12,277	45.9	29,427	20.1
中国	3,747	106.4	11,872	12.1
アジア	1,235	55.8	2,577	6.9
米州	2,570	△61.4	8,836	△21.1
欧州	4,706	2.5	12,283	15.7
合計	24,537	10.2	64,997	9.6

（注）1. セグメント間取引については、相殺消去しております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。